

令和2年度第1回柳川市総合教育会議議事録

1 開会及び閉会に関する事項

令和3年1月26日(火)

開会 13時30分

閉会 15時00分

2 出席委員の氏名

市長	金子 健次
教育長	沖 毅
委員	江口 正基
委員	田中 義隆
委員	瀬戸口 京子
委員	田中 麻子

3 事務局等の出席者

総務部長	平田 敬介
人事秘書課長	高田 啓介
記録者人事秘書課人事係長	横山 章
教育部長	袖崎 朋洋
首席指導官	野田 真功
学校教育課長	古賀 洋
主任指導主事	野中 裕二
学校教育課長補佐	藤吉 康裕
生涯学習課長	新開 文隆
人権・同和教育推進室長	成清 和政
図書館長	目野 康彦
子育て支援課長	竜 晴美
総務課長	武田 真治

4 傍聴者

0人

5 議事の概要

発言者	内容
金子市長	皆さん、こんにちは。 本日、令和2年度「第1回柳川市総合教育会議」をご案内いたしましたところ、

	<p>委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。さて、平成30年5月に「第2次柳川市教育大綱」を作成いたしました。早いもので、その実施期間の3年間が終わろうとしています。</p> <p>本日の会議では、本年度の重点的取組の進捗状況を確認・検証していただき、その上で、次期柳川市教育大綱についてのご協議をお願いしたいと思っております。</p> <p>結びに、本市の教育向上のために、総合教育会議がその役割をしっかりと果たすことができるよう、教育委員会の皆様方と一層の連携を図るとともに、「ともに育ち、ゆたかに学ぶ、夢をかなえるまち、水郷柳川」の実現のために努力していくことを申し添えまして、私からのごあいさつとさせていただきます。</p>
人事係長	金子市長、ありがとうございました。
	<p>それでは、早速ではありますが、議事に入りたいと思います。議事進行につきましては、沖教育長をお願いしたいと思います。それでは教育長よろしく願いいたします。</p>
沖教育長	それでは、ここから私が会議を進行させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。
	さて、会議はですね、季節柄、短時間で充実した会議にしたいという風に思っていますので、ぜひご協力よろしく願いいたします。
	まず初めに、議題(1)の『「第2次柳川市教育大綱」重点的取組の進捗状況報告』についてでございます。
	<p>大綱の柱が、大綱が「8つの柱」ごとに設定されております。「8つの柱」を、大きく5つに分けて、1と2、345、それと678はそれぞれに、5つに分けて、成果と課題についてご報告をお願いします。</p> <p>担当部局より説明をお願いし、皆様からご意見等いただきたいと考えております。</p>
	<p>それでは、柱①の「豊かな人間性や志をもってたくましく生きる子どもを育てる教育の推進」と、柱②の「確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実」の重点的取組について、学校教育課、生涯学習課から説明をお願いします。</p>
学校教育課長	一柱1、柱2の重点的取組の説明
生涯学習課長	
沖教育長	以上、柱1、2の説明がございました。
	何かご質問、ご意見等ございましたら、よろしく願います。
金子市長	ゴミの減量について先ほど取組状況の報告がありましたが、ひとつだけ経過についてお話ししたいと思います。
	柳川市のゴミ袋について新しくデザインを変えましたが、
	12月1日にいきなり小泉環境大臣から電話まいりまして、柳川市でユニーク

なゴミ袋のネーミングを付けられていると知って、環境省でその取組を発信したいとのことでした。本当にびっくりしたところですが、新ごみ焼却施設の建設費の負担額をみやま市と柳川市の可燃ごみの割合で決めるとなっています。ゴミの量が少なければ、市が負担する額が少なくなることとなって、みやま市が結構頑張っています。

柳川市で考えたのは、台所でのゴミの水を切って燃やすしかない。ただし、ゴミの一般廃棄物の71%くらいが布製品とか紙製品とかいう資源ゴミ、リサイクルできるゴミなんですね。

そこで、可燃ゴミ袋の値段を倍にいたしました。量は同じですけど。資源ゴミのゴミ袋を逆に安くしました。

そうしたら、スーパーでは資源ゴミのゴミ袋が売り切れて無くなるくらいになって。ということで、頑張って可燃ゴミを減量化しようと思います。結果的には大きなねらいとして二酸化炭素削減のきっかけにもつながります。大きな宿題をもらったと思っていますので、このような取り組みについて、柳川市としても、子どもたち含めてやっていけたら成功するのではないかと思いますので、経過とねらいについて発言をさせていただきました。以上です。

沖教育長

ありがとうございました。他にありますか。

田中義隆委員

1年間みてきて、成果と課題という形ですが、できれば課題に向けてですけども、具体的に例えば、単純にレベルアップとか、口で言うことは簡単なので、これの為にこういうこととして、どうだったという形での、成果と課題が来年は出来ればと思います。

特に、コミュニティスクールなんかは、意識の改革を言ってますので、そういうところで単純に、研修をしたからどうなるということではないので。やっぱりそれにはそれなりのチェアマンとか進行係が必要になってくるし、それと踏まえて、来年に向けてその都度その都度、こういう取り組み今度ありますよという形で教えてくれればと思います。

そういった最初は具体的な策をやっていくかが大事になってくるので、そこが分かればと思います。以上です。

沖教育長

はい。ご意見でよろしいですか。

田中義隆委員

はい。意見です。

沖教育長

他にございませんか。

そして指導官から、何かこうこの現状について、来年考えていることを言っていた方がいいですか。

野田首席

全学年でですね、このゴミ減量に対する学習指導を行うということで、現在、来年度のカリキュラムを作成しているところでもあります。4月早々からスタートが出来るのではないかとこのように考えております。

指導官

沖教育長

全学年全児童生徒が、来年度ごみ減量に関するに取り組む学習をします。1

	<p>年生から中学3年生まで。全員するというので、ただいま計画を立てております。併せて大きくは環境教育です CO2 を削減するという大きな狙いの元に、学習を展開します。</p>
沖教育長	<p>他にございませんか。</p> <p>ないようですので、次にいかせていただきます。</p> <p>続きましては、柱3「生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進」、4「特色ある市民文化の創造」、5「健全な身体をつくるスポーツ活動の推進」の重点的取組について、生涯学習課、図書館から説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>－柱3、柱4、柱5の重点的取組の説明－</p>
図書館長	
沖教育長	<p>柱の3、4、5の説明がございました。</p> <p>何か意見、質問等ございませんか。</p>
田中義隆委員	<p>柱3の校区まちづくり協議会設立と書いてありますけれども、具体的にどういったものですか。</p>
生涯学習課長	<p>校区の問題のすべてその組織で解決するようなものが校区まちづくり協議会でして、豊原校区で初めて立ち上がっております。まず第1弾として自主防災組織について考えていこうと現在取り組まれておられます。これを全小学校区で立ち上げたいと思っています。</p>
沖教育長	<p>他にございませんか。それでは、先に進めさせていただきます。</p> <p>続きまして、柱6になります。6の説明をお願いします。</p>
人権同和教育推進室	<p>－柱6の重点的取組の説明－</p>
沖教育長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>何かご質問、ご意見等ございませんか。また後でも時間を最後にも質問の時間を設けたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>続きまして、柱の7に入っていきます。</p> <p>柱7について「子どもが健全に育つための子育て支援の推進」について、子育て支援課から説明をお願いします。</p>
子育て支援課長	<p>－柱6の重点的取組の説明－</p>
沖教育長	<p>何かご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p>
田中麻子委員	<p>いつもいろいろな取組ありがとうございます。</p> <p>妊娠から18歳まで切れ目のない包括的な支援ということで、着々と進んでいるところで喜んでいるところです。</p> <p>小さいうちからはっきりはしないけれども、何か育てにくいなあと思っているお母さんたちがやはりおられて、先々に感じてくれば、就学してから特別な支援、配慮が必要なお子さんことということで、なるべく早くいろんなことが分かって自信</p>

をもって仕事ができたり、アドバイスをもらうのが一番いいと思います。

このように重点的取組3にもありますけれども、子ども家庭総合支援拠点という子ども相談係に設置されている拠点と、母子包括支援係に開設された「子育て世代包括支援センター」とありますけれども、なかなか保護者の方から見ればどこに相談すればいいのかなというところで、それこそ窓口がここに言えばワンストップでいろんなところに紹介していただけるということで、また新しくこの地域拠点の建物ができるということで期待しております。お配りしていただいたようなここに相談すれば大丈夫よと、キャッチコピー的にもわかりやすい方法をしていただいて、直接何かわからないけれども子育てがちょっと困っているとか、お子さんについて育てにくいとか愛情がわからないとかそういった漠然とした悩みに対してもワンストップで相談できるところがはっきりと示されると、大変有難いんじゃないかなと思いますのでよろしくお願いします。

沖教育長
子育て支援課
長

はい。子育て支援課長、そこあたりの連携とか発言をお願いします。

まず、子どもができた段階で、妊娠届ってという形の母子手帳を見させていただきま。その方たちに基本的にはいろんなことをお尋ねして、少しケアが必要かなとかいう妊婦さんを、支援するよう働きかけしていきます。その間にちょっと心配な妊婦さんには、当然助産婦さんから電話で問い合わせとか、電話をしていただいたりとかしています。お子さんが生まれてからは、生まれてから2週間して、また電話で子育てに悩みはありませんか、ていうなお話ですとか、それからご存知の通り全戸訪問という形で、そういうところから心配なお母さま、保護者の方、お子さんをつないでいたらなというふうに思っているところでございます。もうひとつ付け加えさせていただくと、3月か4月からになるかと思いますが、母子健康手帳について、今はペーパーなんですけれども、母子健康手帳アプリというアプリを導入する予定でございます。なので、お母さま達にそのアプリを導入していただいて、そのアプリを見ていただくと、どんなところに相談したらいいとか、あと子育ての情報とか、ある程度見られるようにしていくつもりでございまして、そういうところでも含めて啓発をしていきたいというふうに考えております。

沖教育長
瀬戸口委員

はい。よろしいですか。

学童保育のことなんですけれども、支援員不足が毎回話題に上っていることなんですけど、具体的に、どこの地区が支援員が不足しているのかということと、それから、障害がある方とか支援が必要な子どもたちと一緒に学童保育やってるわけですが、その対応はどのようになっているのかお聞きしたいです。

沖教育長
子育て支援課
長

はい。子育て支援課長。

ここに支援員確保が、なかなか厳しくてここでは一部と書いてございますけれども、昭代第一の学童保育所が毎年ご相談をいただいております。それでハローワークに掲載を学童保育所のほうからされて、支援員さん同士の横のつながりで声掛けをしていただいたりっていうところで、何とか4月にはスタートできるよう

	<p>な形で、支援が不足したという実績はいまのところございません。</p> <p>障害のある方については、支援員を増員配置して対応しておりますけれども、それが本当に皆さん希望された方が皆さん受け入れていただけるかという、現在厳しいところはあると思います。受け入れてあるところは当然増員して対応しているところでもあります。</p>
沖教育長	<p>よろしいですか。</p>
沖教育長	<p>要は保障されているけど、質の担保がなく、課題という所だと思います。</p> <p>ほかにご覧いませんか。</p>
田中義隆委員	<p>お願いなんですけれども、子どもができるもうちょっと前の世代の女性の方うまく繋げていける事業・PRがあればお願いしたいと思います。そしたらもっと住みやすい柳川になるのではと思います。</p>
沖教育長	<p>ご意見としていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>他にございませんか。</p>
金子市長	<p>13 ページの重点的取組 1 の有明物産公園内に作る子育て支援拠点施設についてですが、設計は大体まとまりつつありまして、設計は、柳城児童館のスタッフと一緒に考えまして、面積的には大体 400 m²近い、現在の柳城児童館の倍くらいの面積になります。現在の施設よりも駐車場の広さを含め利便が良くなると思います。来年4月にはオープンできるように、進めていますことを報告しておきたいと思います。以上です。</p>
沖教育長	<p>はい。他にございませんか。柱の 8、総務課からお願いします。</p>
総務課長	<p>－柱8の重点的取組の説明－</p>
沖教育長	<p>はい。総務課から柱の 8 安全・安心まちづくりの推進について説明がございました。何かご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
金子市長	<p>災害の関係ですけれども、昨年令和2年7月豪雨で大牟田市など被害が大きかったところですが、柳川市でも24時間の雨量が過去最多となりましたが、冠水が少なかったかということで、なぜそうなったのかをお話をしたいと思います。</p> <p>地元水門の管理人さんや市の職員などが3日4日かけていろんなかたちで、連絡を密にしまして、930kmのクリーク等がありますけれども、冠水する前に海へ排水してしまう、これは農業用水の確保などいろんなリスクが伴うものですが、上流からの水量を見越して先行排水したということで話題になりました。農林水産省が注目しているものです。柳川市は、市民の協力を得ておこなっていることを紹介しておきたいと思います。以上です。</p>
沖教育	<p>安全安心のまちづくりについての話をいただきました。</p> <p>柱 8 について何かございますか。</p>
江口委員	<p>この場にそぐわないかもしれませんが、総論として、昨年一年間の教育委員会の取組について、委員として感想を述べさせて頂きたいと思います。よろ</p>

沖委員長
江口委員

しいでしょうか。

はい。お願いします。

重点的取組の進捗状況ならびにご報告についてありがとうございました。報告書の中で21ヵ所コロナに関する文言が記載されておりました。ということは昨年一年間、コロナ対策に追われているなど思われますけれども、ちょうど一年前の1月28日にこの議会の中で、市長の挨拶の中でコロナ感染の危機拡大について懸念をされておりました。まさしく昨年は感染拡大によって全ての日本人に多くの影響があつて、対応とか対策について、教育委員会のほうでいろいろ対応されたこと適時報告をしていただいておりますので、状況は把握しておりましたが、その時について感じたことを具体的にいくつか述べさせて顶きたいと思ひます。

まず、学校教育関係なんですけれども、2月28日に国のほうで新型コロナの感染拡大のために、小中高校も全部休校しますと突然そういうふうな要望がありまして、実際は3月2日から春休みまでという、結果的に5月7日まで2ヶ月間の長期に渡り臨時休校という異例な要請をされました。これによって、教育委員会のほうも3月2日に第一回緊急校長会を開催されています。以後その都度休校の対応、卒業式、入学式の見通しということで、3月2日から休校が開始と同時に、本当に当時のことを思い出しますと、バタバタした対応をされたと、徹夜をされたと聞いておりましたけれども、大変だったなあと思ひます。その後も会議の内容の時系列に資料を配布していただき、文章作成、学校、保護者への連絡と大変な作業であったと思ひますが、教育長の的確な指示のもとに、教育委員会の職員の皆さんが学校現場の校長先生はじめ、諸先生方がしっかり受け止めていただいて、周知徹底されて、実行していただいたおかげで休校の影響というのは、そんなに大きくなかったんじゃないかなあと思ひます。生徒、児童にも感染者がなかったなあというふうに思っておりますけれども、その後、5月27日全面解除された時、たまたま小学校の側におりますんで、その時子どもたち非常にうれしい表情で出校してまして、今現在学校賑やかで運動場も活発で、子どもたちも明るく挨拶してくれますし、良かったなあというふうに感じております。その中で具体的に良かったなあと思つたのは、年度末、年度初めの卒業式、入学式これもしっかり対策をさせていただいて、式そのもの、短時間ではあるけれども、卒業のお祝い、入学のお祝いじゃなくて、両方とも、卒業式と入学式ということで実施されました。両方とも出席させていただき祝辞を述べさせていただきました。終わってから保護者の方から、卒業式してもらえて良かった、入学式してもらえて良かったというふうな言葉をいただいております。これはまさしく危機に対応する、対応と言ひますか、いいものに向かったと思ひますし、入学式の場合は、分散で1ヶ月くらいかかって分散で催され、これもまったく同じような内容で、そういう式として年度末、年始の一番大事な子どもたちの一生に一回しか経験できない卒業式になったと心底感じております。学校行事につきましては延期したのありましたけれど

も、大きな影響は出てなかったというふうに思っております。小学校、中学校の修学旅行やりますということで、例えばキャンセルが出たときには、市が支援するような話をお聞きしていますので、そういうことで市とか教育委員会、学校そういう取組があってももちろんですけども、特に感じますのは、地域の方と保護者の方の総意によって、子どもたちに対する教育委員会の取組がいい方向に、危機感を持って対応されたと思っています。

もうひとつは、生涯学習課でございますけれども、これも大きな行事として柳川市民文化会館の落成、開館式、12月20日にオープンされました。おそらく、こちらはもっと予算面だとか、工期だとかございますと、部長はじめ生涯学習課はおそらく大変な気苦労されて取組まれたのかなと思います。開館式にも出席させていただいて、そしてこの会館を利用して1月10日に成人式をされました。私もご案内いただきまして、ステージに座って眺めておりましたけれども、これもほんとに三密を避けるなど大変だったと思いますけれども、その時にちょっと失礼ですけども、感じたことをひとつ。式の最後に成人の代表の方が市長さんに対して謝辞の話をしてくれました。その時に市長さんのほうから終わった後に、自分の言葉で成人の皆さんにしっかりと話されていて感激しました。自分の言葉で話されたということで、こうして見よますと、子どもたちもその時は静かだった。そういう思いというのはやっぱり子どもたちも変わるんだなあというふうに思いますけれども、いろいろと申し上げましたように、ほんとに、一年間大変だったろうと思います。感謝といえますかそういうことで話をさせていただきました。以上です。

はい。ありがとうございました。総括的なお話をいただきました。

先ほどの委員が言われました、市民文化会館については、生涯学習課が頑張ってくれたというふうに思っております。コロナ関係で密室密集になるから工事することが見込まれないということで一ヶ月間工事を止めまして、ただ成人式は絶対やったほうがいいという気持ちがあったものですから、なんとか12月20日に落成をして準備が出来たところですよ。

二点目はですね、これは修学旅行の話ですけども、福岡県議会の中で、修学旅行に行けない学校は、県内のどこかに行くということで、その中で柳川市を挙げていただきました。結果的には小学校を中心として17校が柳川に修学旅行に来ていただきました。その中で新宮町の立花宗茂と闇千代がいた立花山のそのふもとの小学校なんですけれども、そこから手紙が来まして、最初に柳川のことを聞いて正直がっかりしたと、長崎に行きたかったと書いてありました。子どもたちは正直なお話だと思うんですけども、しかしですね、話が展開してきました、立花宗茂などの歴史について、古文書館で職員の話しを聞いたり、お花にいたり、川下りもして、結構よかったと締めくくられているんですけども、そのあとに校長先生がまた来年も来たいということで、要するに歴史を学ぶ修学旅行でよかったなと思っています。

沖教育長
金子市長

沖教育長	<p>ありがとうございました。それでは、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、重点的取組の進捗状況については終わりたいと思います。</p> <p>それでは、(2)時期教育大綱(案)について提案をお願いします。</p>
人事秘書課長	<p>時期教育大綱(案)について説明</p>
沖教育長	<p>はい。ありがとうございました。第3次の柳川教育大綱案の説明が終わりました。大綱の骨格は大きく変わらず文言の整理という所です。</p> <p>何かご質問等ございますでしょうか。</p>
田中義孝委員	<p>教育施策との整合性ということですが、柱1の黄色の網掛けの部分の、態度の育成というのがどういう意味で使われているのか、態度という言葉が気になるところですが。</p>
学校教育課	<p>教育活動の充実については、先ほども説明させていただいたところですが、それを受けて、自主的、実践的な行動までしていける子どもにしていくのが大事じゃないかというふうことで、態度形成まで育成したいということで追加させていただいているところです。</p>
沖教育長	<p>はい。他にございませんか。</p> <p>ご質問、ご意見等ないようですので、本日晒された次期教育大綱(案)につきましては、こういった形で最終案を作っていくということで、よろしいでしょうか。では、最終案を作成して、委員の皆様を持ち回りや書面決議などで確認をお願いして、策定させたいというふうに思います。みなさん、それでよろしいでしょうか。</p> <p>はい。では、続きまして、4「その他」に入ります。その他事務局からは、何かございますか。</p>
事務局	<p>特にございません。</p>
沖教育長	<p>はい。では、委員のみなさまから何かございませんか。よろしいですか。</p> <p>皆様には、長時間にわたりご議論いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>今後とも、皆様との情報共有と連携を図りながら、教育・学術・文化の総合的な振興を図ってまいりたいと考えていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>